

## 試聴会・訪問記掲載

### 上新電機オーディオ試聴会 (2014.10.19)

#### —マランツ・デノン新製品の試聴—

#### 1. はじめに

ジョーシン日本橋1ばん館オーディオ試聴会で開催されたマランツとデノンの新製品の試聴会に行ってきました。マランツのネットワークプレイヤーNA8005とデノンのプリメインアンプPMA-SX1がその対象で、いずれもこの秋の目玉商品らしくメーカーの担当者も熱の入った説明をされていました。

#### 2. 試聴会の進行

最初はマランツのラインアップでB&WのCM10を鳴らすことから始まりました。入口はNA8005でアンプがSA8005です。音源はネットワーク経由でNASから読み出したもの、PCからUSBケーブル経由で読み出したもの、およびAirplayが使用されました。PCはMAC、NASはQNAPが使用されていました。



LANからの混入ノイズ対策としてのアイソレーターの採用、専用の再生ソフトはありませんが、WindowにはJRiverとMacにはAudirvanaを推奨するとのこと、iPodなどからAirplayが可能なこと、iPadから操作が可能なことなどの説明を織り交ぜながら順次NASからの再生、Airplayによる再生、USB入力による試聴が行われ、いきました。

ギター、トランペット、美空ひばりなどと続き、最後にクラシックのピアノ曲がかけられましたが、スタンウェイかヤマハかピアノの種類が判然としない音がしていました。多くの曲を聴いていませんが、クラシック以外のジャンルが向いているように感じました。

NA8005 のメーカーサイトの情報を添付しておきます。

<http://www.marantz.jp/jp/products/pages/ProductDetails.aspx?CatId=hifi&SubCatId=networkaudioplayer&ProductId=NA8005>

この価格帯までのネットワークプレイヤーでは 5.6MHzDSD 対応はまだ少ないようで、発売に時間がかかったのは、このところをクリアするためのということでした。

次にデノンのシステムでの試聴に移り、入り口が SACD/CD プレイヤーの DCD-SX1 でプリメインアンプの PMA-SX1 により B&W 802D を駆動して試聴が行われました。上掲の写真では緑のカーテンの中に隠れています。回路の説明や出力段の構成、MC と MM 別のフォノ入力、躯体の構造や放熱対策などを織り交ぜながら、DCD-SX1 からジャズのピアノ、女性ボーカル、オーケストラ、アカペラ、ジャズのサクソ、ポルカなどが順次かけられて行きましたが、こういうデモの印象として最新機種にありがちな、クラシックをまともに鳴らすにはちょっときびしいところがありますが、コンテンポラリーな音楽ジャンルを楽しく聴くにはもってこいという音作りがなされているように感じました。オーケストラはこういうデモでよく聴かされる火の鳥でしたが、金管の華やかさとはうらはらに弦の艶っぽさとか木管の質感が薄い印象でした。発売キャンペーンとして特別のアナログ盤が提供されるとのことでしたが、このアナログ盤に一番の魅力を覚えました。

<http://www.denon.jp/jp/pmax1/cp.html>

最後に PMA-SX1 のメーカーサイトの情報を添付しておきます。

<http://www.denon.jp/jp/product/pages/Product-Detail.aspx?Catid=382c2279-a153-4d3c-b8fa-81b930454f67&SubId=af1fd175-db30-4e92-8d89-aab4db1ab958&ProductId=PMA-SX1>

以上